

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 満期保有目的の債券 … 償却原価法(定額法)によっている。

イ その他の有価証券

時価のあるもの … 期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

時価のないもの … 原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法に基づく低価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金 … 期末時点の退職給与(自己都合)要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金 … 職員の賞与の支払に備えるため、賞与支給見込額のうち当期に負担すべき金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	523,651,584			523,651,584
絵画	1,483,060,476	1,500,000		1,484,560,476
投資有価証券(満期保有目的以外)	2,696,274,000		275,164,000	2,421,110,000
小 計	4,702,986,060	1,500,000	275,164,000	4,429,322,060
特定資産				
退職給付引当資産	31,484,250	1,832,740		33,316,990
減価償却引当資産	119,140,604	0	1,584,000	117,556,604
小 計	150,624,854	1,832,740	1,584,000	150,873,594
合 計	4,853,610,914	3,332,740	276,748,000	4,580,195,654

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
土地	523,651,584	523,651,584	0	0
絵画	1,484,560,476	1,439,710,000	44,850,476	0
投資有価証券(満期保有目的以外)	2,421,110,000	0	2,421,110,000	0
小 計	4,429,322,060	1,963,361,584	2,465,960,476	0
特定資産				
退職給付引当資産	33,316,990	0	0	33,316,990
減価償却引当資産	117,556,604	0	117,556,604	0
小 計	150,873,594	0	117,556,604	33,316,990
合 計	4,580,195,654	1,963,361,584	2,583,517,080	33,316,990

- 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	540,321,805	399,541,933	140,779,872
什器備品	17,686,619	15,706,908	1,979,711
電話加入権	299,128	0	299,128
ソフトウェア	1,206,975	1,206,975	0
投資有価証券(運用)	5,770,650	0	5,770,650
合 計	565,285,177	416,455,816	148,829,361

- 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし

- 6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし